

# 大村市竹松遺跡で古代末の倉庫群を発見!!

平成27年度の都市計画道路池田沖田線建設に伴う大村市竹松遺跡の発掘調査で、直線状に並ぶ古代末（平安時代末、11世紀）の倉庫群が発見されました。

## 1 発見された倉庫群

こおりがわ郡川から西に広がる微高地の先端部付近において、980 m<sup>2</sup>にわたり発掘調査を行ったところ、350基余りの柱穴を検出しました。このうち、南北約28m、東西約8mの範囲で、大型の柱穴が南北方向に並んでいることが確認されました。これらの柱穴を元に建物を復元すると、そうばしらたてももの総柱建物3棟、がわばしらの側柱建物4棟が建てられていたことが分かりました。

また、北側には柵が東西に延びていたと考えられます。

総柱建物は高床式の倉庫、側柱建物は倉庫の管理棟と推測されます。

これらの建物の時期は、柱穴から出土した土器から、いずれも11世紀頃（平安時代末）になります。

このほか、柵の北側で、ほぼ同時期と思われる大型の竪穴建物を検出し、複数のカマド遺構やえっしゅうようけいせいじ越州窯系青磁という貴重な中国産の磁器が出土しました。

## 2 発見の意義

### (1) 11世紀の有力者の存在が明らかになりました

今回検出した遺構は、一般集落に比べて規格性が高く、この地域の有力者の施設の一部であると考えられます。11世紀頃に、竹松周辺に有力者が存在したことを示す遺構といえます。

なお、今回見つかった建物は、高床の倉庫およびその管理施設と考えられますが、周辺では今後有力者の居宅跡が見つかる可能性があります。

### (2) 歴史の空白期の遺構が具体的に明らかになりました

大村市竹松周辺では、4世紀の円墳と居館跡（竹松遺跡）、4～5世紀の<sup>きょかんあと</sup>黄金山古墳、6世紀の野田古墳及び鬼の穴古墳、12～13世紀の豪族居館跡（竹松遺跡）と、古墳時代から中世にかけて断続的に有力者の存在を示す遺跡、遺構が明らかになっていました。また、今回の調査地点を含めた郡川下流域では、8世紀～9世紀の<sup>そのきぐんが</sup>彼杵郡衙の存在が推測されており、これを含めると、11世紀は歴史上の空白期でした。今回発見した11世紀の倉庫群は、この地域の歴史の空白を埋める貴重な発見といえます。

### (3) 中世の豪族につながる展開が明らかになりました

今回倉庫群が発見されたところは、郡川へのアクセスが容易なうえ、洪水など水害を受けにくく、地盤もしっかりした場所です。また、倉庫の北側を走る水路は、条里跡（古代の水田跡）が残る黒丸地区まで延びており、水利を管理するのに適した立地環境にあります。このことから、水田の経営に関与した有力者であったと考えられます。一方、近隣の竪穴建物からは越州窯系青磁が出土していて、郡川を介した交易活動にも関わっていた可能性が考えられます。このように、水田経営や交易活動を通して力を蓄えた有力者が、その後大規模な区画溝を有する居館を残した豪族へと成長していく過程が、具体的な遺構の変遷で確認できます。

### 3 竹松遺跡の調査概要

- (1) 遺跡名 竹松遺跡
- (2) 所在地 大村市竹松町
- (3) 調査主体 長崎県教育委員会
- (4) 調査担当 長崎県教育庁新幹線文化財調査事務所
- (5) 調査 都市計画道路池田沖田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査
- (6) 調査面積 8,380㎡(今年度末まで)
- (7) 調査期間 平成26年度～平成28年度(予定)

### 4 問い合わせ先

- ・長崎県教育庁新幹線文化財調査事務所 なか お 中尾・ふるかど 古門
- ・住所：大村市東三城町7-9富士ビル3F
- ・電話番号：0957-53-8800



竹松遺跡調査地点遠景(南から)

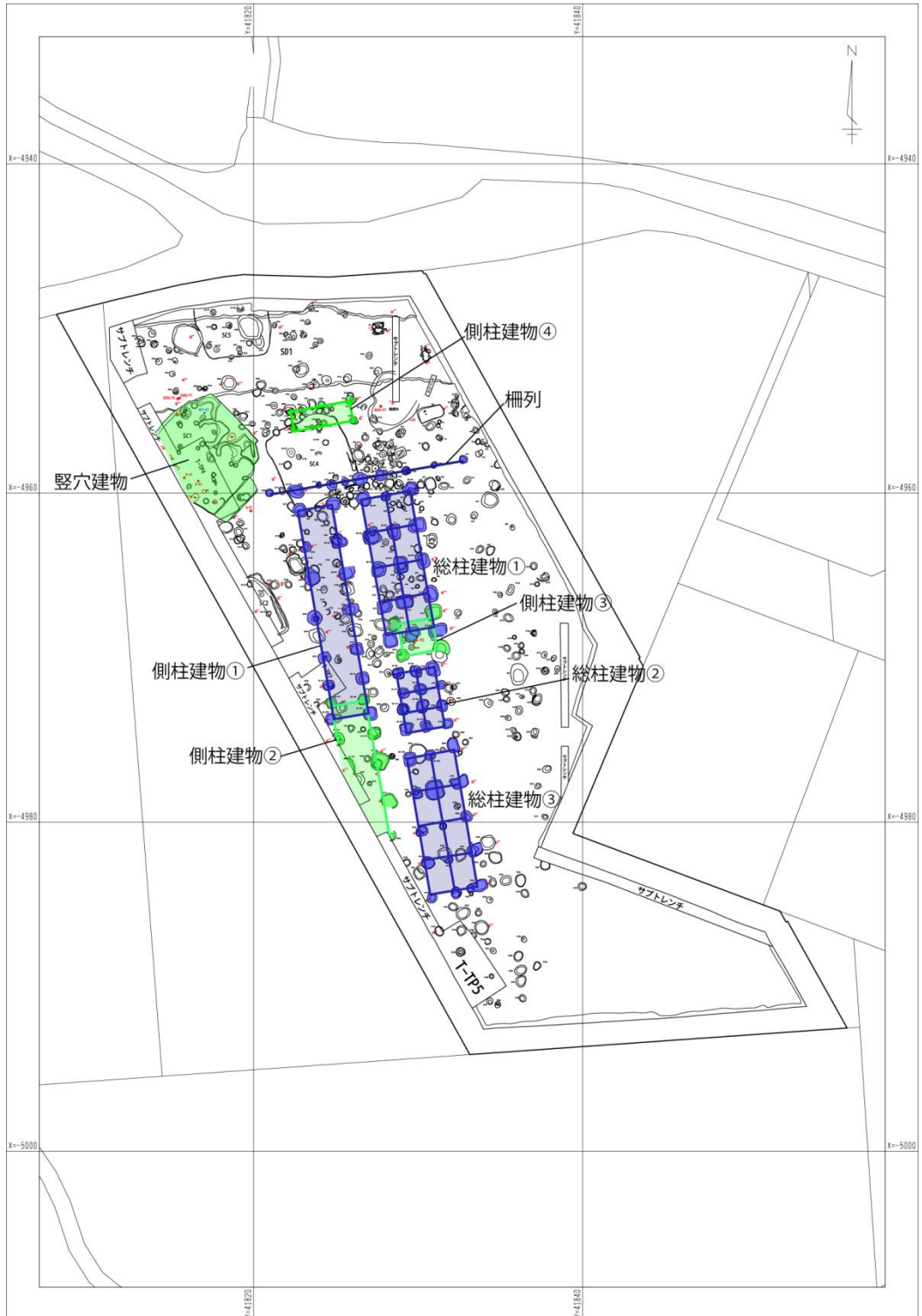
※矢印が調査地点



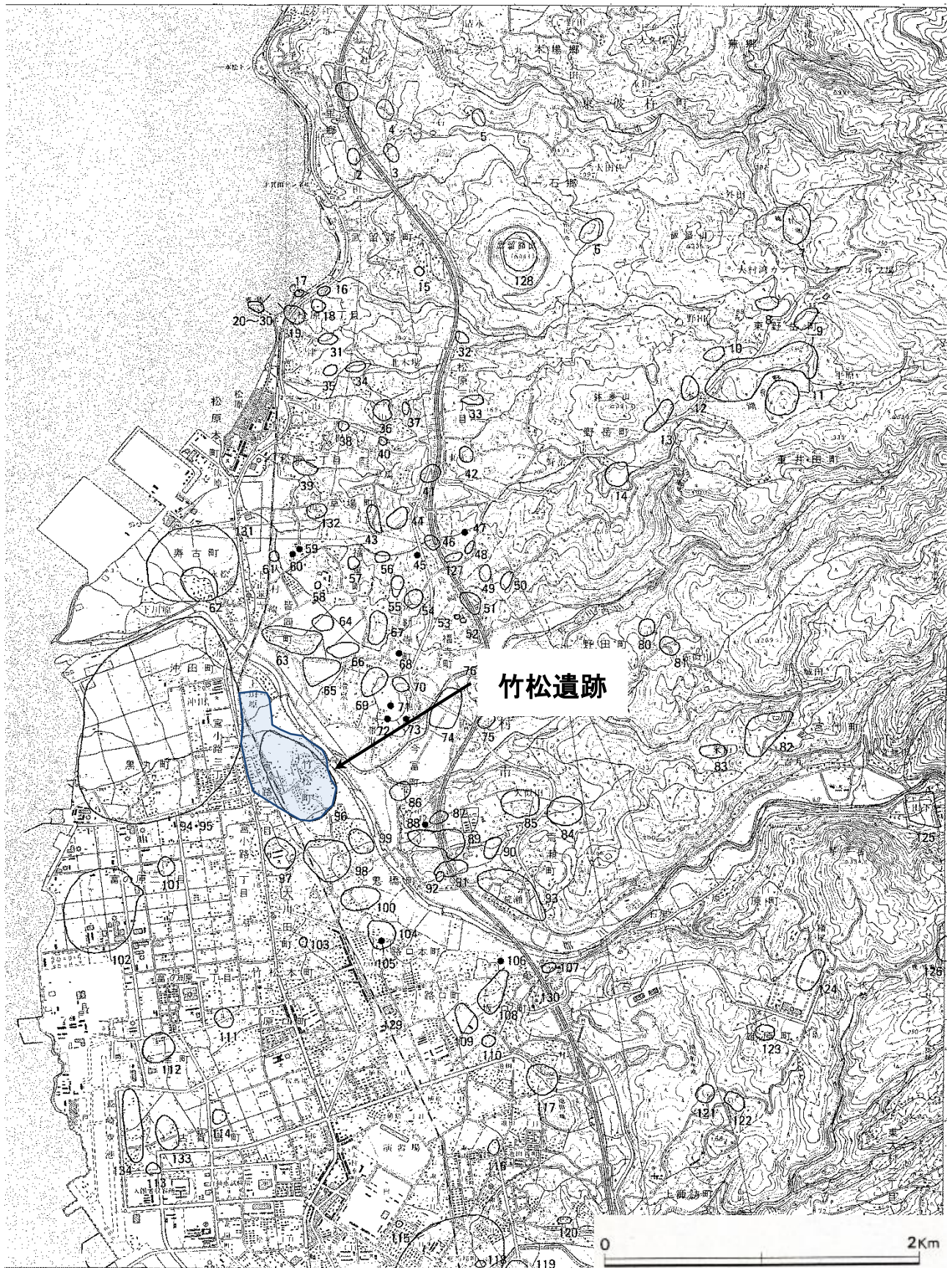
建物跡（北から）



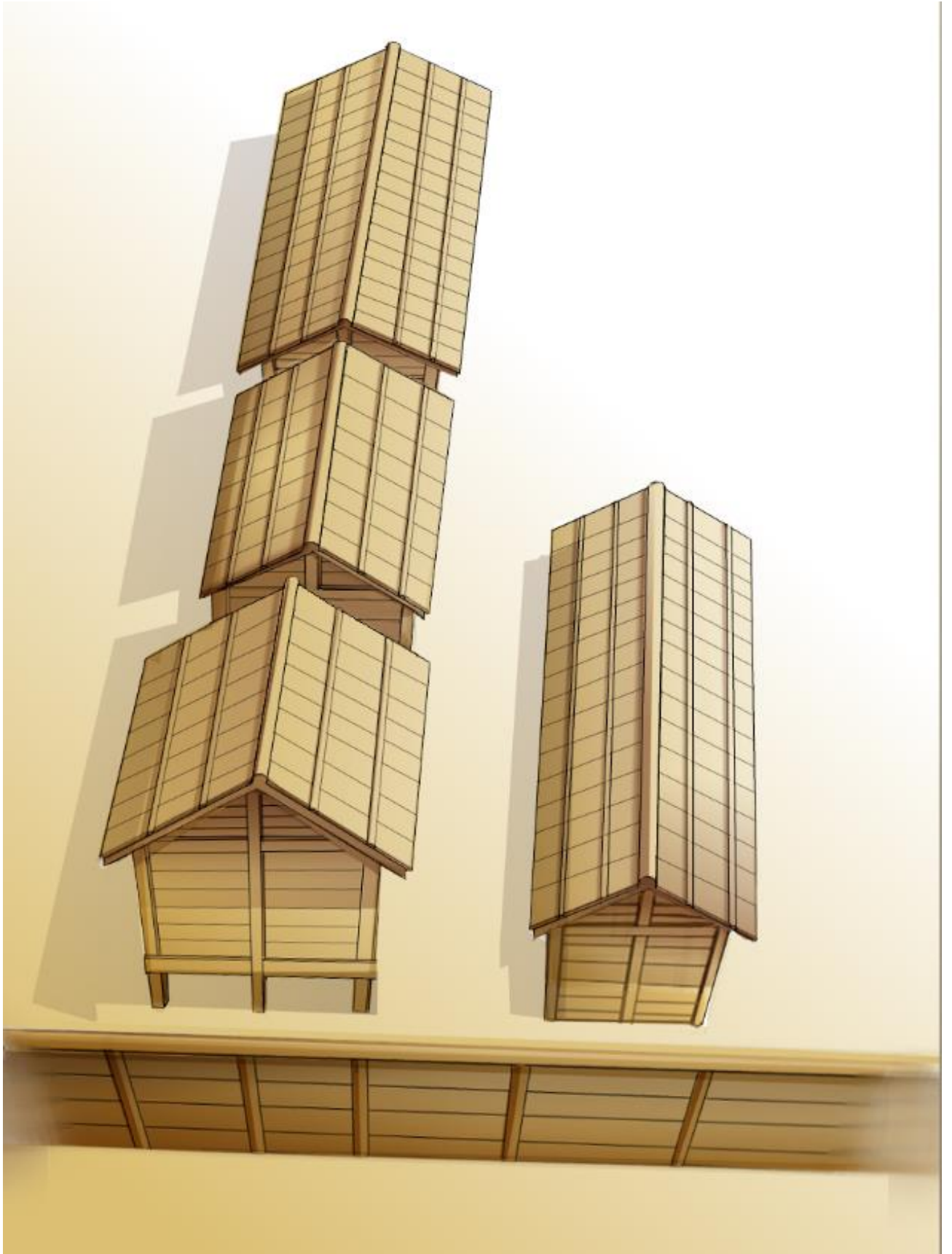
建物跡の柱（南から）柱の半分を調査した状況



建物跡の復元図 (S=1/400)



竹松遺跡 位置図



建物跡の想像図（北からのぞむ）

## 【参考】

### ○ほったてばしらたてもの掘立柱建物

地表面に直接柱穴を掘って立てられた建物。

### ○そうばしらたてもの総柱建物

掘立柱建物またはそせきだちたてもの礎石立建物の中で、1けん間ごとにくまなく格子状に柱を立てたもの。

### ○がわばしらたてもの側柱建物

掘立柱建物の中で、外壁のみに柱を立てたもの。

### ○えっしゅうようけいせいじ越州窯系青磁

古くは越えつとよばれたせつこうしょう浙江省北部の窯で焼かれた青磁。日本出土のものは初期貿易陶磁とされ、8世紀末から11世紀中ごろの時期と考えられている。

### ○そのきぐんが彼杵郡衙

古代のそのきのこおり彼杵郡の役所。古代の彼杵郡は、現在の佐世保市一帯から大村湾を取り囲む地域、それに長崎半島に至る広い範囲である。